

来春開校「鹿角高校」 3校の伝統継承 生徒成長を表現 校章デザイン発表



県教育庁は11日、鹿角市の花輪、十和田、小坂の3高校が統合して来年4月に開校する「鹿角高校」の校章を発表した。鹿の角を圖案化し、同

市の木であるナナカマドの葉3枚を配した。3校の伝統を継承しながら伸びやかに成長する生徒や、地域に貢献する学校の姿をイメージした。

和歌山県田辺市の北野公一さん(79)の原案を採用し、県デザイン協会顧問の青木隆吉さん(秋田市)が補作した。

デザイン案は7月18日～8月31日に公募。県内外の405人から433件の応募があった。3校の生徒や同窓会、PTAの代表者らの意見を基

に、教育目標や地域性を表しているデザインを絞り込んだ。

今後は決定した校章を使って校旗や制服に着けるバッジなどを作る。校章とともに歌詞を募集した校歌は現在作曲中で、来年2月に発表する。

鹿角高には普通科5学級、産業工学科1学級を設置。鹿角市花輪の花輪高校舎を一部改修して活用し、実習棟と多目的屋内運動場を新設する。

(本多恒頭)